

馬淵川のこれからの川づくりについてご意見をお聴かせ下さい

～馬淵川水系河川整備計画（素案）について～

「馬淵川のこれからの川づくり」として策定する馬淵川河川整備計画について、地域のみなさんの貴重なご意見をお寄せ下さい。

添付のハガキを用いて、ご意見をお聴かせ下さい



霊峰名久井岳と馬淵川

国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所
青森県 県土整備部

河川整備計画とは、河川法の三つの目的である「治水」「利水」「河川環境の保全」が総合的に達成できるよう、今後の川づくりについて具体的に示す計画であり、法律で定められたものです。

● 計画の背景

近年、河川をとりまく状況は大きく変化しており、治水、利水の役割を担うだけでなく、うるおいのある生活環境の場としての役割も期待されています。また、地域の風土と文化の形成や、動植物の生息・生育・繁殖の場としての環境面など、多様な視点からの個性を活かした川づくりが求められています。

馬淵川水系は、昭和22年、昭和33年に代表される大規模な洪水に見舞われ甚大な被害が生じており、近年においても洪水が繰り返されています。その一方で昭和48年などに代表される濁水被害も発生しています。

馬淵川流域は豊かな自然環境に恵まれた地域であり、折爪馬仙峡や霊峰名久井岳といった景勝地が多く見られます。また、オオタカ、ハヤブサといった貴重な鳥類や、タナゴやシロウオ、イトヨ、スナヤツメといった貴重な魚類が生息しており、多種多様な種の生息・生育空間となっています。

馬淵川流域は、古くからしばしば大洪水に見舞われており、治水の歴史も古く、延享5年(1748年)には大規模な新川掘削の河川改修工事が行われた記述も見られます。明治44年には最初の長期計画である第1期治水計画が策定され、その後幾度かの計画改訂を経て、昭和15年に馬淵川河口の放水路開削に着手し、昭和30年に全面完成しました。馬淵川放水路の完成により形成された河口付近の馬淵川と新井田川の三角地帯は、洪水常襲地帯から解消され、八戸臨海工業地帯として八戸市発展の礎となりました。

河川の整備にあたっては、こうした馬淵川流域の特性を踏まえつつ、安全で安心でき、うるおいのある、より良い馬淵川の川づくりを目指します。また、堤防などの施設整備だけでなく、住民参加と地域との連携による川づくりのしくみや支援等に努めます。



昭和15年9月洪水(大橋付近の様子)

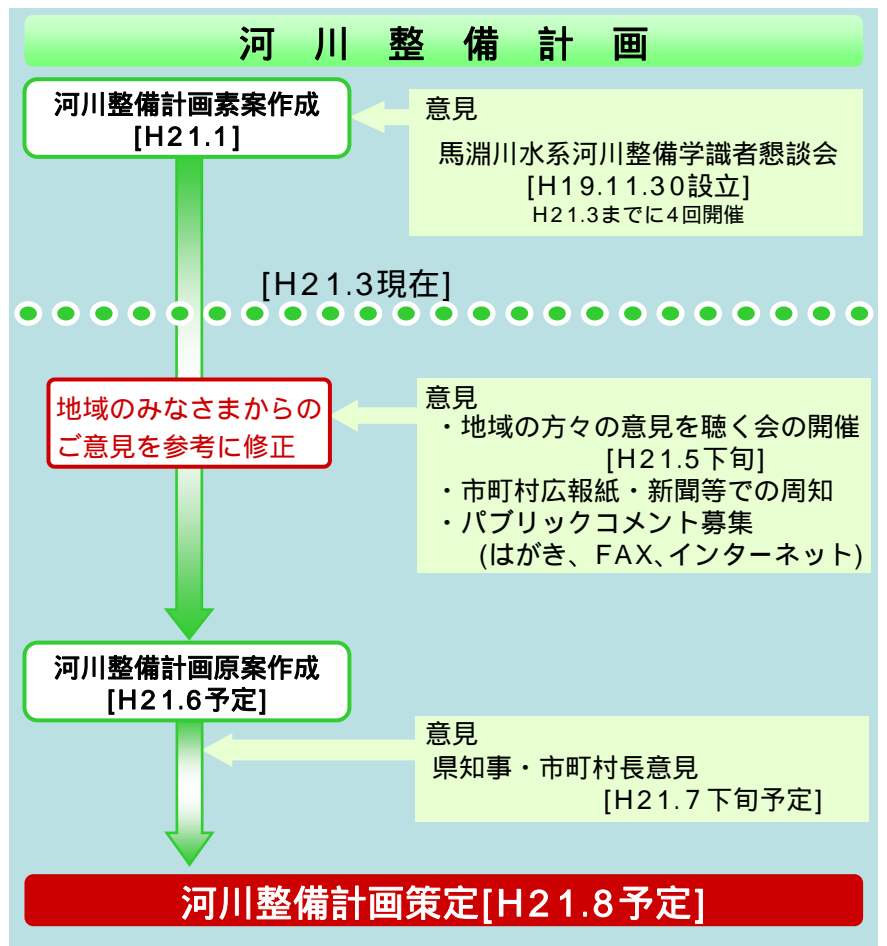
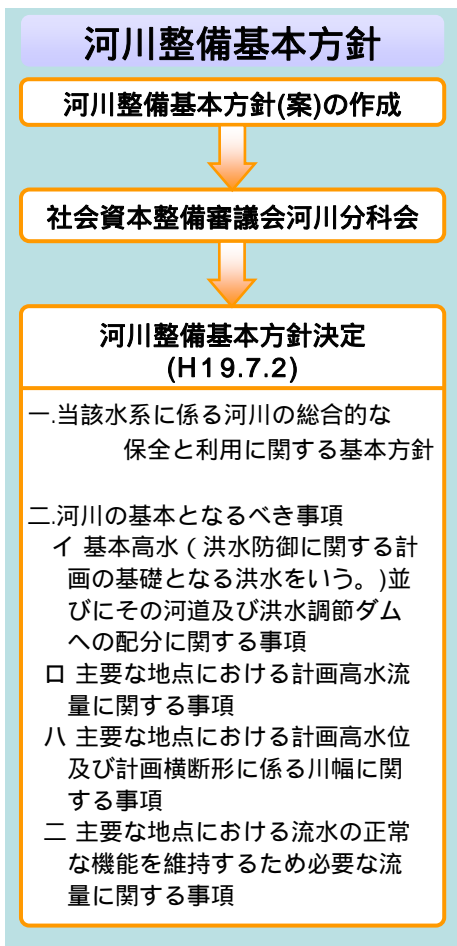


馬淵川を代表する景勝地(折爪馬仙峡)



水辺の楽校での環境学習会

● 計画策定の流れ ~ 策定の経緯と今後の予定 ~



● 基本的な考え方 ~川づくりの基本理念~

馬淵川を取り巻く様々な課題を踏まえ、「馬淵川水系河川整備基本方針」(平成19年7月2日策定)に沿って、以下の3点を基本理念に関係機関や地域の方々との情報の共有、連携の強化を図りつつ、治水、利水、環境に関わる整備を総合的に展開します。

安全・安心 ~安全で安心が持続できる川づくり~

地域の安全と安心が持続できるように、必要な治水対策を行い、洪水、内水被害、高潮、地震などさまざまな災害から沿川地域住民の生命と財産を守り、将来にわたって人々が安心して暮らせる安全な馬淵川の実現を目指します。

共生・継承 ~豊かな河川環境と河川景観を次世代に継承する川づくり~

馬淵川の自然豊かな河川環境と河川景観を次の世代に引き継ぐため、連携と協働のもと流域一体となった河川環境の保全、再生、創出を目指します。

川・人・地域 ~地域の個性と活力、歴史や文化が実感できる川づくり~

地域の魅力と活力を引き出すため、馬淵川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあい、歴史、文化、環境の学習ができる場、市民の利活用の場などの整備、保全を目指します。

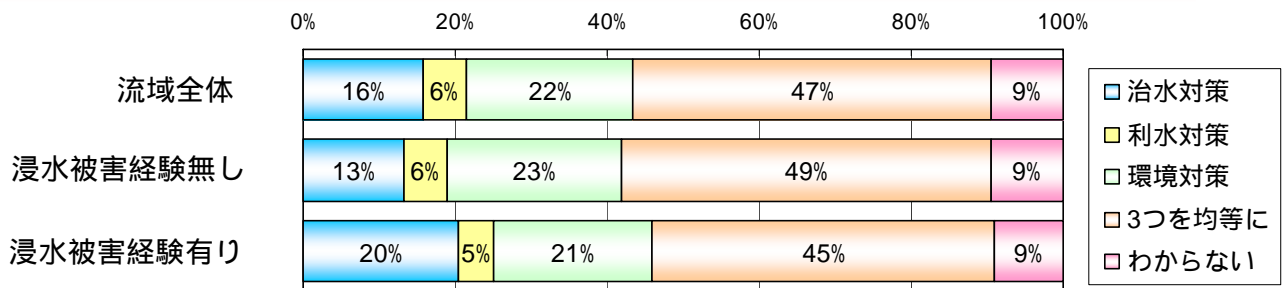
河川に関する情報について地域住民と幅広く共有されるよう、防災学習、河川の利用に関する安全教育、環境教育などの充実を図るとともに、住民参加による河川清掃、河川愛護活動などを推進します。

今後の整備計画の進め方について~馬淵川に関するアンケート調査~

河川整備計画の策定に向けて、地域のみなさんの意見をお聞きするためにアンケート調査を実施しました。

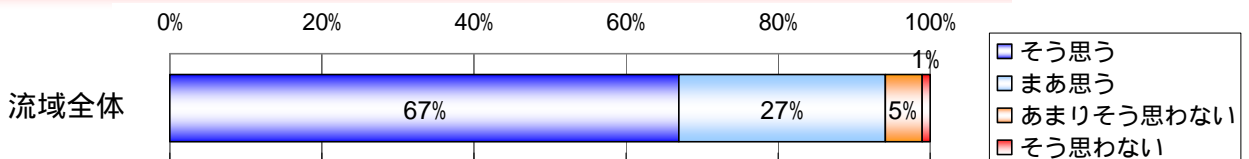
治水・利水・環境のバランスを考えた整備が望まれています。

~治水対策・利水対策・環境対策のうち、どの項目に力を入れるべきだと思いますか？~

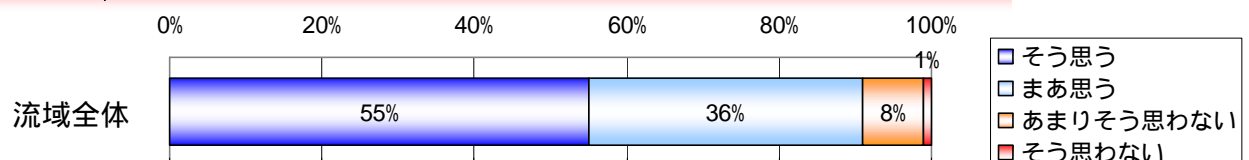


地域住民が参加し、流域が一体となった川づくりが望まれています。

~川づくりは上流から下流の住民まで協力して取り組むべきだと思いますか？~



~川づくりには、地域住民も積極的に活動すべきだと思いますか？~



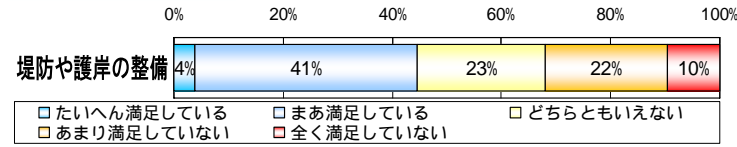
安全な馬淵川の実現を目指して ~治水に関する整備~

● 治水に関する現状と課題

馬淵川に関するアンケート調査

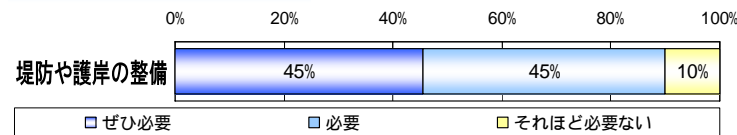
堤防や護岸整備に対する満足度は高いと言えます。

~川の満足度~



さらなる整備が必要であると認識されています。

~洪水対策の必要性~



まだ十分ではない安全性

築堤や河道掘削など、段階的に安全性の向上を図っています。近年においても、洪水により多数の家屋が浸水しています。被害を軽減するための対策を、今後も進めていく必要があります。



頻発する内水氾濫被害

内水氾濫：支川からの水が本川に排水できなくなり、支川合流部付近で生ずる氾濫のこと。

馬淵川下流部の浅水川合流部は内水氾濫の常襲地帯です。平成16年9月や平成18年10月の洪水等では、内水氾濫により大きな被害を受けました。

内水氾濫の浸水に対しても、被害を軽減するための対策を、国・県・八戸市が連携して進めていく必要があります。



● 治水の目標

安全性の確保・向上

戦後最大洪水である昭和22年8月洪水と同規模の洪水が発生しても、外水氾濫による浸水被害を防止します。

(大臣管理区間)

昭和22年8月洪水と同規模の洪水が発生した場合の被害状況



内水氾濫、支川の氾濫による被害は含んでいません

現況(整備前)
氾濫面積 約100ha
浸水世帯 約150世帯

整備後
氾濫面積 約0ha
浸水家屋 約0世帯

現状で想定される被害がなくなります

平成16年9月洪水及び平成18年10月洪水と同規模の洪水からの安全性を確保・向上させます。

概ね20年に1度発生する洪水に対して宅地の浸水被害を防止し、概ね3年に1度発生する洪水に対して農地の浸水被害の軽減を図ります。

(知事管理区間)

20年に一度の洪水が発生した場合の被害状況

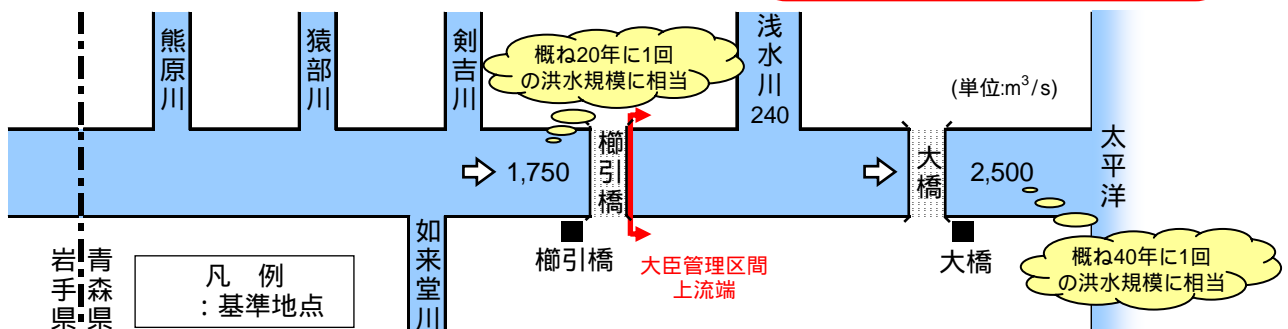


現況(整備前)
浸水世帯
約300世帯

現況(整備前)
浸水世帯
0世帯

内水氾濫、支川の氾濫による被害は含んでいません

宅地の浸水被害がなくなります

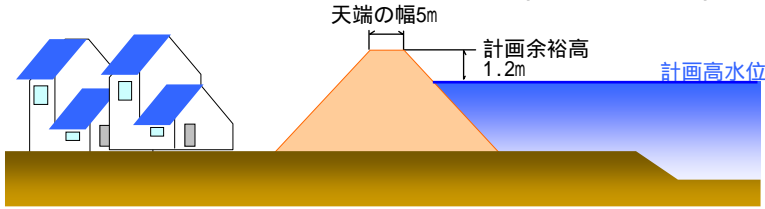


治水対策の具体的内容

堤防の整備

無堤箇所及び断面（堤防高や幅）が不足する箇所において堤防の整備を実施します。

堤防の質的向上を目指して、堤防の安全性を高める整備を実施します。（大臣管理区間）

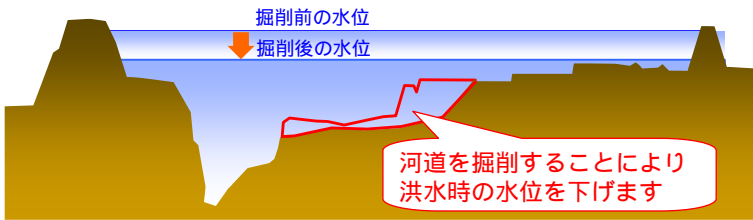


堤防整備のイメージ

河道の掘削

洪水時の河川の水位が下がるよう、河道断面積を拡大するための河道掘削を実施します。

（大臣管理区間・知事管理区間）



河道掘削のイメージ

輪中堤の整備

平成16年9月洪水、平成18年10月洪水に対応するため、床上浸水被害の発生した家屋を対象とした輪中堤の整備を実施します。

（知事管理区間）



輪中堤整備のイメージ

内水対策

被害状況等に応じて排水ピットや排水ポンプの増強などの内水被害軽減対策を実施します。

（大臣管理区間）



地震・津波対策

堰や樋門・樋管などに対して耐震性を検証し、耐震補強などの必要な対策を実施します。（大臣管理区間）

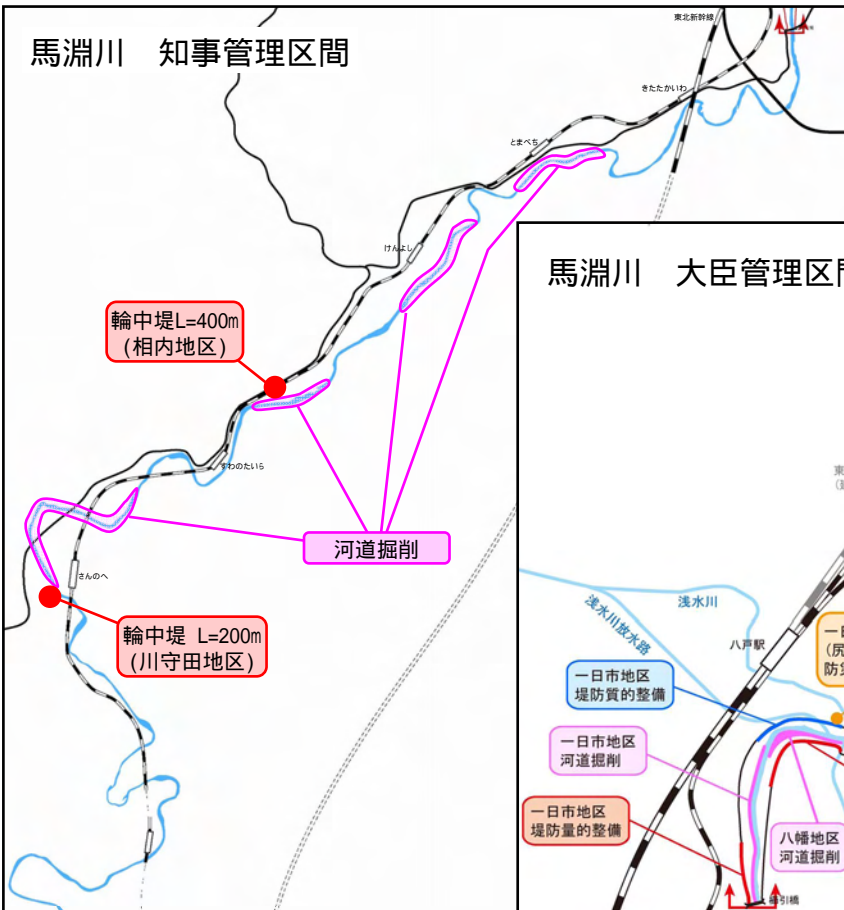
水防活動拠点の整備

河川情報の発信や水防活動、避難活動などの拠点となる河川防災ステーションの整備を実施します。

（大臣管理区間）



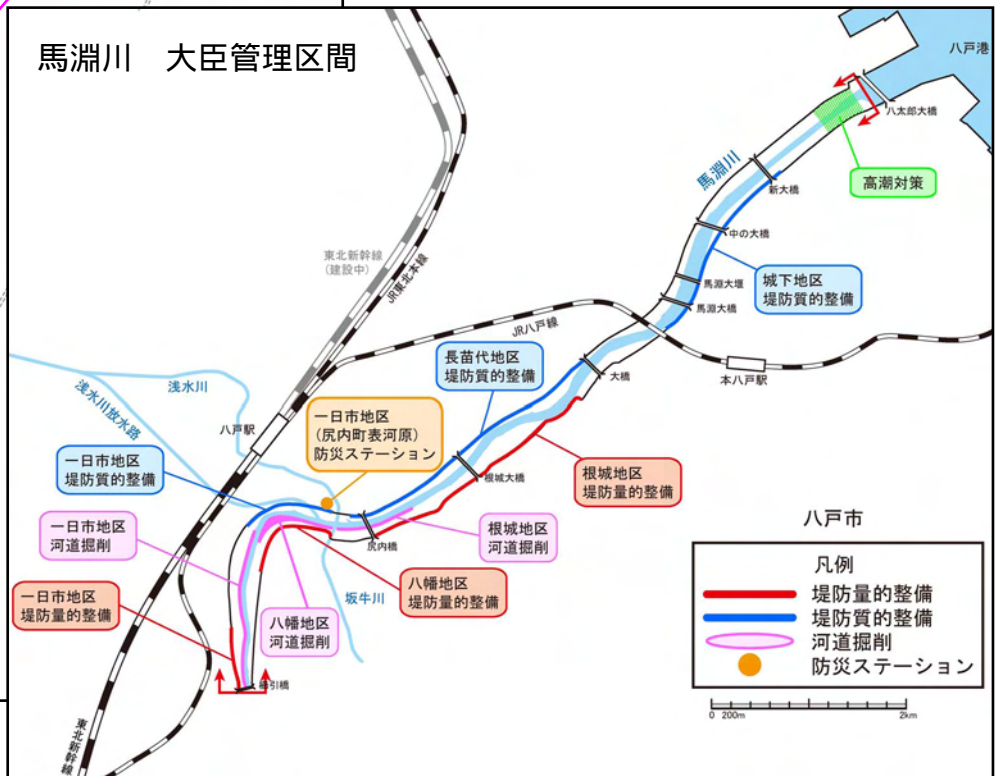
馬淵川 知事管理区間



河川整備の実施箇所

堤防の位置や構造、質的整備実施箇所および河道掘削箇所については、今後、詳細設計を経て決定するもので、最終的なものではありません。

馬淵川 大臣管理区間



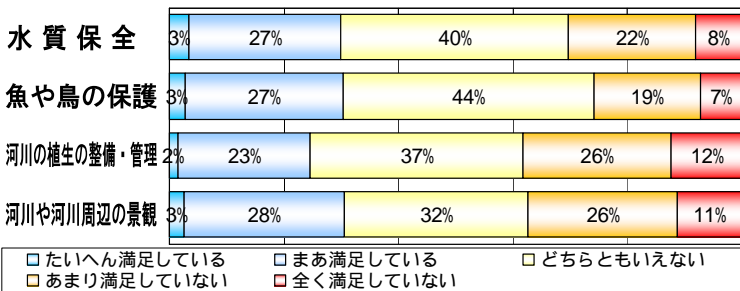
豊かな自然環境を引き継ぐために ~利水・環境に関する整備~

利水・環境に関する現状と課題

馬淵川に関するアンケート調査

河川の自然環境に対する満足度は低い傾向になっています。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



渇水被害

昭和48年には大規模が渇水被害が発生しており、安定した河川流量の確保に努める必要があります。

豊かな景観

豊かな河川景観を保全し、次世代に引き継ぐように努める必要があります。

多様な動植物

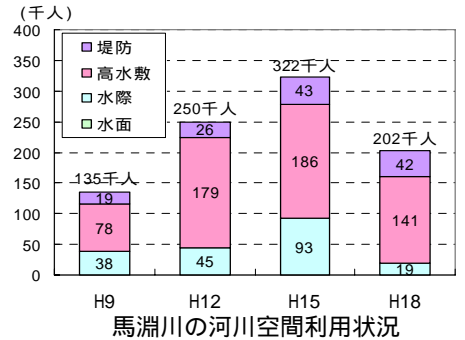
多様な動植物の生息・生育する馬淵川の豊かな自然環境を次世代に引き継ぐ必要があります。

確認されている外来種から、馬淵川特有の動植物を守る必要があります。



活発な河川利用

河川公園などが整備された高水敷では、各種イベントを中心にスポーツ、釣り、散策など多様な活動が行われています。



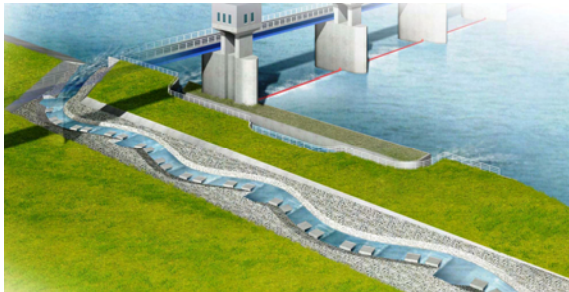
利水・環境に関する目標と具体的内容

河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持

渇水時には、水利用者と連携した取水調整などにより水利用の合理化を図ります。
関係機関との連携を図りながら流水の適正な管理に努めます。
(大臣管理区間・知事管理区間)

動植物の生息・生育環境の保全

良好な河川環境の維持・保全に努めるとともに、河川工事の実施にあたっては、可能な限り良好な河川環境の復元・創出に努めます。
関係機関と連携し、外来生物の侵入・拡大の防止に努めるとともに、環境モニタリング調査を実施します。
(大臣管理区間・知事管理区間)



移動環境の向上を目指した魚道改良(馬淵大堰)

水質の保全

流域の水質状況を把握し、良好な水質の維持に努めます。
広報活動にも力を入れ、環境学習を通じての啓発活動を実施します。
(大臣管理区間・知事管理区間)



水質調査体験

良好な景観の保全

河川工事による景観の改変を極力小さくするよう努め、良好な景観の保全を図ります。
(大臣管理区間・知事管理区間)



景観に配慮した緩傾斜堤防整備 他河川での事例

人と河川とのふれあいの場の維持・創出

地域と県や市町村などと連携しながら、水辺の楽校などの整備を行います。
子供からお年寄りまで安心して利用ができるよう、安全性に配慮した整備により、人と河川とのふれあいの場を確保します。
(大臣管理区間)



外来植物の駆除 他河川での事例



NPOと住民参加による外来種調査 他河川での事例



ピチャピチャランドの利用



河川空間(高水敷)の利用

● 維持管理の基本的な方針

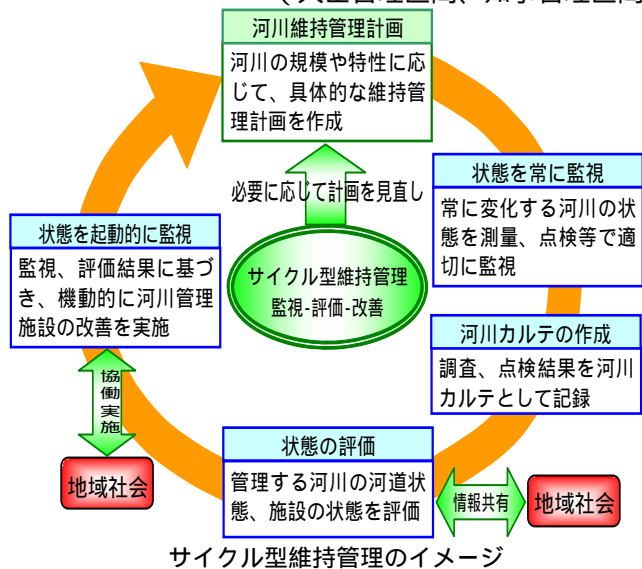
河川管理施設について、「災害の発生の防止」、「河川の適正な利用」、「流水の正常な機能の維持」、「河川環境の整備と保全」等の観点から、施設の本来の機能が発揮されるように適切な維持管理を実施します。

サイクル型維持管理の推進

馬淵川の河川特性を十分に踏まえ、具体的な維持管理の計画を作成します。

河川の状態変化の監視、状態の評価、評価結果に基づく改善を一連のサイクルとした「サイクル型維持管理」により効率的・効果的に実施します。

(大臣管理区間、知事管理区間)



サイクル型維持管理のイメージ

河川の維持管理

河川の巡視、点検や調査など河川の状態を適切に把握します。河川管理施設、河川空間や自然環境等について、適切な維持管理を実施します。

(大臣管理区間、知事管理区間)



樋門・樋管の点検

危機管理体制の整備・強化

災害発生時においても被害が最小限となるよう、公助・共助・自助における体制づくりを整備します。

河川情報の収集・提供、洪水ハザードマップの活用支援、水防活動への支援強化等の施策を進めます。



洪水危機管理演習の実施



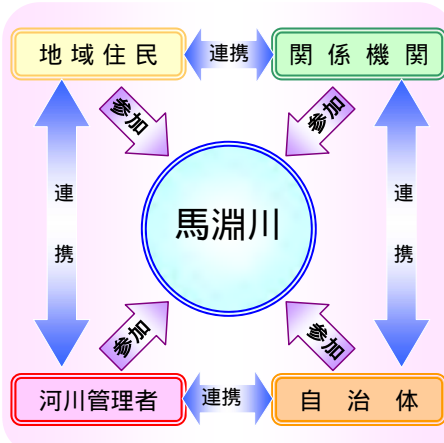
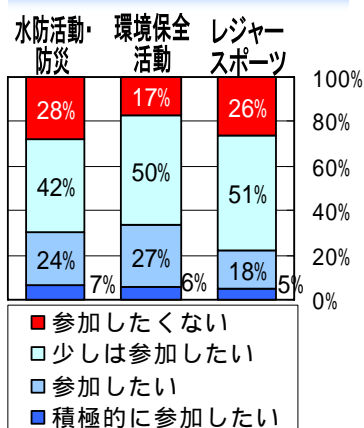
水防工法訓練(木流し工法)

住民参加と地域との連携による川づくり

住民参加と地域との連携に川づくりを実現するため、流域に住む誰もが、馬淵川に関心を持ち、参加できる仕組みづくりや支援に努めます。(大臣管理区間)

馬淵川に関するアンケート調査結果

川に関する活動への参加意向



地域と河川管理者とのパートナーシップ



まべちかわ親子川くだり



住民参加による「水辺の楽校」のクリーンアップ活動

料金受取人払



差出有効期間
平成21年2月
10日まで

(切手は不要です)

郵便はがき

030-8790

(受取人)

青森県青森市
中央三丁目 20-38

国土交通省東北地方整備局
青森河川国道事務所
調査第一課 行



フリガナ		年齢	男女
お名前			
ご住所	(〒 -)		
電話番号	()		

※いただきましたご意見等については、名取川水系河川整備計画策定以外に使用することはありません。

『馬淵川水系河川整備計画【素案】』は下記で閲覧できます

関係機関名	担当課	電話	住所
青森河川国道事務所	調査第一課	017-734-4560	青森市中央 3-20-38
八戸出張所	技術係	0178-28-2626	八戸市長苗代二丁目5-8
高瀬川河川事務所	調査・品質確保課	0178-28-7135	八戸市石堂三丁目7-10
青森県庁	県土整備部 河川砂防課	017-722-1111	青森市長島 1-1-1
三八地域県民局	地域整備部 河川砂防施設課	0178-27-5154 (管理、砂防・急傾斜) 0178-27-5491 (整備)	八戸市尻内町鴨田7
八戸市役所	建設部 港湾河川課	0178-43-21371	八戸市内丸一丁目1-1
五戸町役場	建設課	0178-62-7961	三戸郡五戸町字古館21-1
南部町役場	企画調整課	0178-84-2111	三戸郡南部町大字苦米地字下宿23-1
南部分庁舎	建設課	0179-34-2111	三戸郡南部町大字沖田面字沖中46
三戸町役場	ふるさと農村課	0179-20-1111	三戸郡三戸町大字在府小路町43
田子町役場	経済課	0179-32-3111	三戸郡田子町大字田子字天神堂平81
新郷村役場	産業建設課	0178-78-2111	三戸郡新郷村大字戸来字風呂前10

みなさまのご意見をお聴かせください。

いただいたご意見を参考にさせていただきますので **月 日 金** までご投函ください。

いただきました意見について、馬淵川水系河川整備計画策定目的以外には使用することはありません。
一切の個人情報については、第三者に開示または提供することはありません。

キリトリ

馬淵川水系河川整備計画（素案）に関するご意見について下枠にご記入ください。

Q1 河川整備計画についてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

治水について

利水・環境について

維持管理について

地域との連携について

Q2 その他、河川行政等についてお気づきの点がありましたらご記入ください。

馬淵川水系河川整備計画【素案】の公開について

『馬淵川水系河川整備計画【素案】』の本文は沿川市町村や青森県庁、青森河川国道事務所でご覧いただけます。閲覧会場に関する詳細は裏表紙をご参照ください。下記ホームページでも本文を公開しています。
多くの方々からのアクセスをお待ちしております。

【ホームページURL】

大臣管理区間：<http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/>
知事管理区間：<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kasen>

地域の方々の意見を聴く会の開催について

馬淵川流域にお住まいの方ならどなたでも参加することができます。

参加ご希望の方は、当日最寄の会場までお越しください。

当日、先着順より参加の受付を行います。希望者多数の場合は、会場の都合により入場できないことがあります。

日時	開催場所
/ () : ~ :	
/ () : ~ :	
/ () : ~ :	



国土交通省



青森県

東北地方整備局 青森河川国道事務所
調査第一課

〒030-0822 青森市中央三丁目20-38

TEL:017-734-4521 (代表)

FAX:017-722-2540

青森県 県土整備部 河川砂防課

〒030-8570 青森市長島一丁目1-1

TEL:017-734-9664

FAX:017-734-8191

お気軽にお電話ください